

熊本市公共事業環境配慮指針に基づく  
環境配慮の実施状況について  
(平成30年度報告)

令和2年5月

熊本市環境局環境推進部環境政策課

熊本市公共事業環境配慮指針に基づく環境配慮の実施状況について  
(平成 30 年度報告)

本市の公共事業において、「熊本市公共事業環境配慮指針」に基づく環境配慮の実施状況について報告するものである。今回、報告対象としているのは、平成 30 年度中に公共事業環境配慮評価会議で評価した事業(第 1 種事業)、チェックシート等で評価した事業(第 2 種事業)、工事が完了し、環境配慮結果が報告された事業である。

【重点配慮事項について】

環境保全都市宣言や環境総合計画等に基づくもので、公共事業を構想・計画する段階での環境配慮の必須事項としている。

重点配慮事項	主な配慮事項
1 環境保全型エネルギーの活用	太陽光発電設備の導入
2 省エネルギーの推進	省エネルギー型照明等の導入
3 その他温室効果ガスの発生抑制	アイドリングストップの促進やノンフロン製品の採用
4 地下水のかん養及び保全	雨水浸透ますの設置や節水型給水設備の設置
5 緑の創出及び保全	敷地面積の 20%以上の緑化目標
6 建築廃棄物の減量及びリサイクルの推進	再生骨材等の利用

※ 各重点配慮事項の詳細は、熊本市公共事業環境配慮指針 9 ページ以降参照

1 指針に基づき評価を行った事業

(1) 公共事業環境配慮評価会議で評価した事業 (第 1 種事業) 0 件

(2) チェックシート等が更新された事業 (第 1 種事業) 4 件

※ 当該事業は過去の公共事業環境配慮評価会議で評価済み。

(3) チェックシート等が更新された事業 (第 2 種事業) 12 件

(4) チェックシート等が提出された事業 (第 2 種事業) 8 件

2 工事が完了後に環境配慮結果が報告された事業

工事が完了し、環境配慮結果が報告された事業 (第 2 種事業) 6 件

1 指針に基づき評価を行った事業

(1) 公共事業環境配慮評価会議で評価した事業（第1種事業）なし

(2) チェックシート等が更新された事業（第1種事業）4件

No.	【事業種類】 事業・工事名 (担当課)	現況	重点 配慮 事項	主な実施予定
1	【漁港・海岸整備事業】 天明漁港水産生産基盤整備事業 (水産振興センター)	工事	2	LEDをはじめとした長寿命省エネルギー型照明を採用予定 建設機械から排出されるCO2削減のためアイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制を行う 工事車両等を運転する際には経済運行速度を遵守する
			6	建設副産物の再生利用指針等に基づき、舗装工事等を実施する場合は再生骨材、再生加熱アスファルト混合物を利用する 建設廃棄物等建設副産物を工事現場から搬出する場合は、再資源化施設へ搬出し、再資源化を図る 建設発生土の発生抑制、適正処理に努める
2	【建築物整備事業】 (仮称) 秋津災害公営住宅建設工事 (震災住宅支援課)	工事	2	省エネルギー型照明など省エネルギーの推進
			3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制、経済運行速度の遵守 代替フロン、ノンフロンの採用
			4	雨水浸透ますの設置、節水に配慮した給水設備の設置、搬入土砂等は土壌基準に適合したものを使用
			5	熊本市緑地の保全及び緑化の推進に関する条例18条に基づく緑化、熊本市みどりの指針に則った計画
			6	再生骨材、再生加熱アスファルト混合物の利用、金属型枠の使用、間伐材の有効利用 建設廃棄物の再資源化、適正処理の実施、伐採木の再資源化 建設発生土の発生抑制、工事間利用、分別保管、適正処理
3	【建築物整備事業】 (仮称) 白藤災害公営住宅工事 (震災住宅支援課)	工事	2	省エネルギー型照明など省エネルギーの推進
			3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制、経済運行速度の遵守 代替フロン、ノンフロンの採用
			4	雨水浸透ますの設置、節水に配慮した給水設備の設置、地下工事時における地下水質及び水量への配慮 搬入土砂等は土壌基準に適合したものを使用
			5	熊本市緑地の保全及び緑化の推進に関する条例18条に基づく緑化 熊本市みどりの指針に則った計画
			6	再生骨材、再生加熱アスファルト混合物等の利用、建設廃棄物の再資源化、適正処理等の実施、建設発生土の発生抑制、工事間利用、分別保管、適正処理
4	【建築物整備事業】 熊本市市民病院再建事業 (病院局事務局総務企画課施設管理室)	工事	1	太陽光発電（20kW）、ガスコージェネレーションを設置
			2	LED照明、照度センサー制御照明を設置
			3	建物の断熱化（Low-E複層ガラスの採用、断熱材の使用）、代替フロンの採用 アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制、経済運行速度の遵守
			4	雨水散水利用採用、節水機器の導入、雨水浸透施設の設置、透水性舗装を採用 地下工事時における地下水質及び水量への配慮、周辺の水道水源井戸及び湧水の保全
			5	敷地内及び壁面(立体駐車場)の施設緑化、可能な範囲で緑地を確保
			6	再生骨材を利用、建設廃棄物の再資源化及び適正処理の実施、 建設発生土の発生抑制及び適正処理の実施

(3) チェックシート等が更新された事業（第2種事業）12件

No.	【事業種類】 事業・工事名 (担当課)	現況	重点 配慮 事項	主な実施予定
1	【道路・街路整備事業】 都市計画道路 熊本駅城山線 (熊本駅周辺整備事務所)	工事	3	アイドリングストップの推進、経済運行速度の遵守
			4	搬入土砂等は土壌基準に適合したものを使用
			6	再生材使用を設計に組み込む、金属型枠の使用、建設廃棄物の再資源化、適正処理等の実施、建設発生土の発生抑制
2	【道路・街路整備事業】 都市計画道路 春日池上線 (熊本駅周辺整備事務所)	工事	3	アイドリングストップの推進、経済運行速度の遵守
			4	搬入土砂等は土壌基準に適合したものを使用
			6	再生材使用を設計に組み込む、金属型枠の使用、建設廃棄物の再資源化、適正処理等の実施、建設発生土の発生抑制
3	【道路・街路整備事業】 都市計画道路 新町戸坂線道路改築 事業 (熊本駅周辺整備事務所)	工事	1	工事請負業者に対してアイドリングストップ等の指導を実施
			4	工事区域毎に濁水対策を検討
			6	「建設副産物の再生利用指針」等に基づき、舗装工事等において路盤材料は、再生加熱アスファルトや再生骨材を利用 コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊等建設副産物を工事現場から搬出する場合は、再資源化施設へ搬出し、再資源化を図る 建設発生土については、可能な限り現場内利用・工事間流用を図る
4	【道路・街路整備事業】 〔仮称〕主要地方道熊本高森線道路 改修工事 －通町筋電停改良－ (交通政策課)	工事	2	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制、排出ガスを軽減する機械を使用
			6	路盤材料及び舗装材料については、原則、再生材を使用、建設廃棄物は全て中間処理場へ搬出し、適正処理（再資源化） 土砂の埋め戻しの際は、可能な限り現場内流用、発生土については可能な限り工事間流用、搬入土砂等は土壌基準に適合したものを使用
5	【下水道整備事業】 坪井川第3排水区浸水対策事業 (河川課)	工事	3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制について施工業者へ指導
			4	地下工事時における地下水質及び水量への配慮
			6	再生骨材、再生加熱アスファルト混合物等を使用、建設廃棄物の再資源化 適正処理等を実施、搬出する建設発生土の全量を工事間流用
6	【下水道整備事業】 坪井川第5排水区雨水幹線整備事業 (河川課)	工事	3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制を実施
			4	地下工事時における地下水質及び水量への配慮について、薬液注入を行う際は、観測孔を設置し、周囲への影響がないか観測を行う
			6	再生骨材、再生加熱アスファルト混合物等を使用、建設廃棄物の再資源化、適正処理等を実施、建設発生土情報交換システム等による工事間利用
7	【建築物整備事業】 特別支援学校小・中学部建設事業 (学校施設課)	工事	1	太陽光発電設備の導入
			2	LED照明の導入
			3	工事請負業者に対してアイドリングストップ等の指導を実施、断熱材等ノンフロンの使用
			4	中水利用設備の導入、節水型衛生機器の導入、透水性舗装の採用
			6	再生切込砕石の利用、伐採樹木の中間処理場への持込、汚泥排出の少ない杭工法の選定
8	【建築物整備事業】 京陵中学校水泳プール改築事業 (学校施設課)	工事	2	省エネ型照明を採用
			3	工事請負業者に対してアイドリングストップ等の指導を実施、ノンフロンの使用
			4	節水機器の導入、雨水浸透枡の設置
			6	再生骨材の利用、建設廃棄物の再資源化、適正処理等の実施
9	【建築物整備事業】 託麻東小学校（第34棟東側）校舎 増築事業 (学校施設課)	工事	2	LED照明の導入
			3	工事請負業者に対してアイドリングストップ等の指導を実施、ノンフロンを採用
			4	節水機器を採用、雨水浸透枡を設置
			6	再生骨材を利用、建設廃棄物の再資源化、適正処理等の実施
10	【建築物整備事業】 二岡中学校屋内運動場増改築・武道 場新築事業 (学校施設課)	工事	2	LED照明の採用を検討
			3	工事請負業者に対してアイドリングストップ等の指導を実施、ノンフロンの使用を検討
			4	節水機器の導入を検討、雨水浸透枡の設置を検討
			6	再生骨材の利用を検討、建設廃棄物の再資源化、適正処理等の実施

(3) チェックシート等が更新された事業（第2種事業）12件（つづき）

No.	【事業種類】 事業・工事名 (担当課)	現況	重点 配慮 事項	主な実施予定
11	【建築物整備事業】 「洋学校教師館」復旧事業 (文化財課)	工事	2	LED機器の導入
			3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制に努める、経済運行速度の遵守に努める
			4	トイレ等に節水型機器を使用、雨水浸透施設の設置に努める、地下工事については、地下水質に配慮した工法を採用
			5	移築先が公園内のため、緑化面積の保全に努める
			6	再生骨材等を利用、建設発生土の抑制 建設廃棄物の発生抑制を図るとともに、搬出する場合は、再資源化施設へ搬出し、再資源化を図る
12	【建築物整備事業】 (仮称) 大江災害公営住宅建設工事 (震災住宅支援課)	工事	2	省エネルギー型照明など省エネルギーの推進
			3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制、経済運行速度の遵守、代替フロン、ノンフロンの採用
			4	節水に配慮した給水設備を設置、雨水浸透枳の設置、地下工事時における地下水質及び水量への配慮、搬入土砂等は土壌基準に適合したものを使用
			5	熊本市緑地の保全及び緑化の推進に関する条例18条に基づく緑化を推進、熊本市みどりの指針に則った計画
			6	再生骨材、再生加熱アスファルト混合物等の利用、建設廃棄物の再資源化、適正処理等の実施、建設発生土の発生抑制、工事間利用、分別保管、適正処理

(4) チェックシート等が提出された事業（第2種事業）8件

No.	【事業種類】 事業・工事名 (担当課)	現況	重点 配慮 事項	主な実施予定
1	【道路・街路整備事業】 都市計画道路 鹿児島本線側道2号 (熊本駅周辺整備事務所)	工事	3	工事仕様においてアイドリングストップ指示、経済運行速度の遵守
			4	搬入土砂等は土壌基準に適合したものを使用
			6	再生材使用を設計に組み込んでいる、金属型枠の使用、建設廃棄物の再資源化、適正処理等の実施、建設発生土の発生抑制
2	【道路・街路整備事業】 都市計画道路 豊肥本線側道1号線 (熊本駅周辺整備事務所)	工事	3	工事仕様においてアイドリングストップ指示、経済運行速度の遵守
			4	搬入土砂等は土壌基準に適合したものを使用
			6	再生材使用を設計に組み込んでいる、金属型枠の使用、建設廃棄物の再資源化、適正処理等の実施、建設発生土の発生抑制
3	【用排水路整備事業】 秋津第2地区農業水路等長寿命化・ 防災減災事業 (北東部農業振興センター基盤整備課)	計画 設計	3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制、経済運行速度の遵守
			5	環境保護地区や保存樹木等の保全
			6	再生骨材、再生加熱アスファルト混合物等の利用、金属型枠の使用、間伐材の有効利用、建設廃棄物の再資源化、適正処理等の実施 建設発生土の発生抑制、工事間利用、適正処理
4	【軌道整備事業】 国府電停～水前寺公園電停間軌条更 換工事 (運行管理課)	工事	3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制、経済運行速度の遵守、排ガス規制建設機械の使用
			6	仮舗装時のアスファルト材料、路盤材については、再生骨材を利用 本工事で発生するアスファルト塊、コンクリート塊及び建設発生木材については、再資源化、適正処理を推進 建設発生土情報交換システムを活用し、工事間利用を促進、搬入土砂等は、土壌基準に適合したものを使用
5	【建築物整備事業】 隈庄小学校校舎増築事業 (学校施設課)	計画 設計	2	LED照明の導入
			3	工事請負業者に対してアイドリングストップ等の指導を実施、ノンフロンを採用
			4	節水機器を採用、雨水浸透枡を設置
			6	再生骨材を利用、建設廃棄物の再資源化、適正処理等を実施
6	【建築物整備事業】 城西中学校屋内運動場増改築事業 (学校施設課)	計画 設計	2	LED照明の採用
			3	工事請負業者に対してアイドリングストップ等の指導を実施、ノンフロンの使用
			4	雨水浸透枡の設置
			6	再生骨材の利用、建設廃棄物の再資源化、適正処理等の実施
7	【建築物整備事業】 田迎南小学校校舎増築事業 (学校施設課)	計画 設計	2	LED照明の導入
			3	工事請負業者に対してアイドリングストップ等の指導を実施、ノンフロンを採用
			4	節水機器を採用、雨水浸透枡を設置
			6	再生骨材を利用、建設廃棄物の再資源化、適正処理等を実施
8	【建築物整備事業】 城南まちづくりセンター複合施設整 備事業 (城南まちづくりセンター)	計画 設計	1	太陽光発電設備及び蓄電池装置を導入
			2	LED照明等を使用
			3	工事請負業者に対してアイドリングストップ等の指導を実施、代替フロン、ノンフロンを採用
			4	トイレや洗面所等に節水機器を導入、雨水浸透枡を設置、透水性舗装等を採用 地下工事時における地下水質及び水量への配慮、周辺の水道水源井戸及び湧水の保全、搬入土砂等は土壌基準に適合したものを使用
			5	可能な限り敷地内の緑化を行う、樹木には、ハナミズキ等の紅葉する樹木を採用
			6	再生骨材等の利用、建設廃棄物の適正処理等を実施、建設発生土の発生抑制、有効利用、適正処理

2 工事完了後に環境配慮結果が報告された事業（主な実施例）

(1) 工事が完了し、環境配慮結果が報告された事業（第2種事業）6件

No.	【事業種類】 事業・工事名 (担当課)	現況	重点 配慮 事項	主な実施
1	【道路・街路整備事業】 主要地方道熊本高森線（桜町工区） 道路改築工事 (都市整備景観課)	完了	3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制のため、建設機械の運転方法に関して指導、排出ガスを軽減する機械を使用
			4	植樹樹の確保、搬入土砂等は土壌基準に適合したものを使用
			5	植樹樹、花壇の整備、景観に配慮した陽光桜の植樹
			6	路盤材料及び舗装材料については、原則、再生材を使用 建設廃棄物は全て中間処理場へ搬入し、適正処理（再資源化） 土砂の埋め戻しの際は、可能な限り現場内流用 発生土については可能な限り工事間流用
2	【軌道整備事業】 八丁馬場曲線軌条更換工事 (運行管理課)	完了	3	温室効果ガスの排出抑制について工事受注者への指導、排ガス規制建設機械の使用
			4	搬入土砂等は、土壌基準に適合したものを使用
			6	仮舗装時のアスファルト材料、路盤材については、再生骨材を利用 本工事で発生するアスファルト塊、コンクリート塊及び建設発生木材については、再資源化、適正処理、建設発生土の適正処理
3	【水道整備事業】 南部送水場建設事業 (水道整備課)	完了	2	外灯の照明において、省エネルギー型の照明を採用
			4	地下工事時における地下水質及び水量への配慮、周辺の水道水源井戸及び湧水の保全、搬入土砂等は土壌基準に適合したものを使用
			5	「熊本市みどりの指針」を遵守した緑の創出
			6	工事現場から発生した建設廃棄物は、再資源化施設に搬入し、再資源化、再生骨材、再生加熱アスファルト混合物等の利用、建設発生土の発生抑制、工事間利用、適正処理
4	【建築物整備事業】 西山中学校屋内運動場増改築事業 (学校施設課)	完了	2	LED照明の採用
			3	工事請負業者に対してアイドリングストップ等の指導を実施、ノンフロンの使用
			4	雨水利用や中水利用設備、節水機器の導入を設計段階で考慮、雨水浸透枳の設置
			6	再生骨材の利用、建設廃棄物の再資源化、適正処理等の実施
5	【建築物整備事業】 (仮称) 熊本市富合地域コミュニ ティセンター建設工事 (地域活動推進課)	完了	2	LED照明器具の設置
			3	工事の際は、請負業者に対して、建設機械や車両のアイドリングストップの徹底を指導、代替フロンを採用
			4	雨水浸透枳の設置、透水性舗装の実施、節水型便器を採用、地下水の水質及び水量の保全、土壌汚染の防止に配慮
			5	敷地内緑化の実施
			6	再生クラッシュランを採用、建設廃棄物の適正処理の実施、建設発生土の発生抑制、適正処理
6	【建築物整備事業】 (仮称) 舞原災害公営住宅建設工事 (震災住宅支援課)	完了	2	LED電球等使用
			3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制、経済運行速度の遵守、発泡剤にフロンを使用していない断熱材を施工、冷媒ガスに代替フロンを採用したエアコンを設置
			4	節水型の便器を設置、雨水浸透枳を設置、杭基礎よりも地盤の掘削震度が浅い地盤改良工事を採用
			5	敷地の一部を緑化（芝張）
			6	再生クラッシュラン等を利用、中間処分場等に持ち込み、再資源化又は適正処理を実施、発生土は埋め戻しに利用し、残ったものは別現場に提供